

1月6日(水曜日)

ドル/円

上振れリスクより下振れリスク

5日(火)の主な推移

チャート: 30分足 5日(火)朝7時 ~ 6日(水)朝7時

NYダウ平均
10572.02ドル (-11.94ドル)
米長期金利 (10年債利回り)
3.7647% (-0.0605%)
NY原油先物
81.77ドル (+0.26ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

- ① 4日の欧米市場で利食い主導でドルが主要通貨に対して下落した流れを引き継ぎ、5日の東京市場でもドル売り・円買いが優勢。午後に三井住友フィナンシャル・グループが8000億円超の公募増資を実施すると報じられたことで、円買いが強まったことも流れを後押しし、ドル/円は昼過ぎに91.62円まで値を下げた。
- ② アイスランドのグリムソン大統領が、経営破たんした同国の銀行の口座に資金を預けていた英国とオランダの預金者に対し、失われた資金を返還する法案に署名しないと述べたことを受けて、ポンド/円やユーロ/円が下落。これに伴い、ドル/円も値を下げ、ほぼ2週間ぶり安値91.24円を記録した。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本政府による市場介入への警戒感
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 90.80-92.15円

本日のドル/円は91円台中盤を中心にもみ合う展開が予想され、アイスランド問題への懸念からリスク回避志向が強まる場合は円高圧力が強まりそうだ。今週のドル/円の下落は、米利上げ観測の強まりで年末に大きく上昇したドルに利食いが強まったことが最大の要因であり、ドルのファンダメンタルズ(基礎的要因)が悪化したことによるものではない。ただ、テクニカル的には、日足のチャートでこれまで下値をサポートしてきた5日移動平均線を昨日に下抜け、10日移動平均線も下回ったことから下落基調が強まっていることは否めない。ドル/円は引き続き、上振れリスクよりも下振れリスクに警戒を要するだろう。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
1/6(水)	22:15	○	(米)12月ADP全国雇用者数[前月比]	-16.9万人	-7.5万人
	24:00	○	(米)12月ISM非製造業景況指数	48.7	50.5
	28:00	◎	(米)FOMC議事録(12月15,16日分)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com